



子どもの姿が出発点 ～「接続の質」を高める保幼小連携をめざして～

本市では、令和6年度から令和8年度までの3年間、上田小学校区（上田小学校・上田こども園・あゆみ保育園・へいわだい認定こども園）を架け橋プログラムのモデル校区とし、保幼小の架け橋期の教育の充実をめざしています。今回は、「あゆみ保育園公開保育と合同研修会までの取組」と「公開保育当日の様子」について紹介します。

★公開保育に向けて園と行政が連携・協働して取り組む★



～園の不安感を軽減する～

あゆみ保育園の皆さんにとっては、初めての公開保育ということを知り、安心して保育を公開できるよう、計画的に園へ足を運び、対話を重ねました。また、琉球大学の「アドバイザースタッフ派遣事業」を活用し、指導講師の宮城利佳子先生に事前訪問を依頼し、園の理念や今重点的に取り組んでいること、担任の保育に対する思い・考え等を共有しながら、保育に対する指導・助言をいただきました。

スタート

- 概要（趣旨）等の説明・共通理解を図る
- 園と共に日程等を考える
- 園の実態等について把握する



事前訪問

- 外部講師を招聘し、相談会を設ける



事前訪問後の支援

- 事務局が訪問し、子ども主体の保育等について共通理解を図る



「遊び込み」について共通理解を深めました。

★2月18日 あゆみ保育園公開保育及び合同研修会★

公開保育の様子



レゴブロックで学校ごっこが始まったそうです。（参観者からの振り返りより）

持ち上げているから、ここに入れてみて！

A児：上田こども園へ行くんだ。
B児：違うでしょ。上田小学校でしょ。



段ボールや大型積み木があることで、遊びが生まれます。

もう一枚つなげてみよう



いい感じ

自分のイメージや考えを伝え合うことで、協同的な学びが自然と生まれます。

これをどうしよう・・・

次のページへGO!





楽しそうだから仲間に入れて



もう少し上げてみて



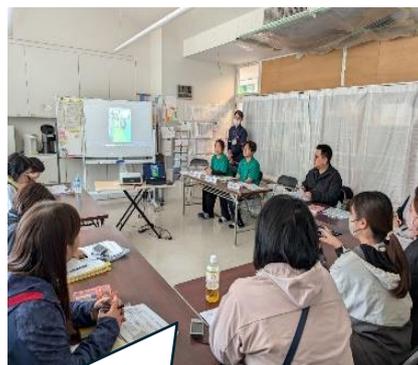
これくらい?

保育者の環境構成の工夫があると、子ども達は、自分たちで仲間関係を広げ遊んでいました。

公開保育後の振り返り

公開保育後すぐに、保育の振り返りを行いました。1年生の先生は、授業のため一旦学校へ戻りましたが、代わりに校長先生がお見えになりました。校長先生や1年生の先生が園に来てくれたことで、子ども達や、園の職員もすごく嬉しかったと思います。保幼小連携の取組を学校全体で取り組んでいくことの大切さを改めて実感しました。

振り返りタイムでは、参加者自身に「いいね」と感じた場面を参観中に撮ってもらい、プロジェクターで写し、その場面についてプレゼンテーションをしていただきました。やはり日頃、自身の園で子ども達をよく観ている保育者さんたち。子どもの内面や育てているだろう力（資質・能力）を読み取り、分かりやすく説明してくれました。



写真を通して、子どもの姿を語り合うことで、その場面を見ていなかった方もイメージしやすくなります。お互いの考えや思い、見方等に共感し、尊重することが大切ですね。

事後の合同研修会



プレゼンテーションをする
島袋先生と政野先生

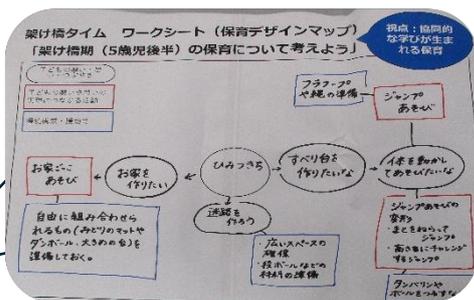
日頃の保育で大切にしていること、これまでの保育の足跡について説明してくれました。



ワークショップで遊びについて意見を出し合う保育者と小学校教諭

ワークショップでは、「協同的な学びが生まれる保育」を協議の視点とし、参観時の子どもの姿から一場面を選んで、みんなで遊びの広がりについて意見を出し合いました。

「今求められている保幼小の円滑な接続の在り方」と題し、ご講話いただきました。



琉球大学講師
宮城利佳子先生のミニ講話



あゆみ保育園の皆様、公開保育ありがとうございました。今回も参観時の子どもの姿を中心とした語り合いを通して、他者の様々な視点に気付く機会となれたことと思います。他小学校区においても、独自で保育参観等を実施されている地域もあるかと思いますが、参観のみで終わるのではなく、ぜひ、子どもの姿を保幼小の職員間で語り合っ
て幼児理解を深めながら、架け橋期のカリキュラムの作成・実施へと活かしていただきたい
と思います。

今回使用したワークシートや、参観シート等は、市 HP「豊見城市幼児教育センターのページ」からダウンロードできますので、ご活用ください。また今回の宮城利佳子先生の講話資料も本通信と一緒に送付いたしますので、ぜひ目を通され、園・学校全体で保幼小連携・接続について理解を深めていただきたい
と思います。

豊見城市幼児教育センター

